

## ご注文申込書

貴店名・帖合

注文  
数

冊

ISBN4-978-4-904194-07-2 C0095

鈴木信太郎【著】 鈴木道彦【監修】

鈴木信太郎巴里日記1954

発行 閏月社 (じゅんげつしゃ) TEL: 03-3816-2273

定価…2,000円

8月8日発売予定

# 鈴木信太郎 巴里日記 1954

鈴木信太郎【著】 鈴木道彦【監修】

A5変形判・上製・174頁・定価：本体2000円＋税

ベル・エポックを知る碩学が、50年代のパリを再訪。美食と観劇、文士との交流などを綴る、貴重な文学記録。

【著者紹介】鈴木信太郎（すずき・しんたろう）1895-1970

東京生まれ。東京帝国大学卒業。東京大学名誉教授。芸術院会員。東京大学文学部仏文学科で教育者として渡辺一夫、小林秀雄、三好達治など多くの後進を育てた。学者としては、ステファンヌ・マラルメ、ポール・ヴァレリー、フランワ・ヴィヨンなどのフランス詩の研究に大きな足跡を残した。特に『フランス詩法』は最も優れた成果の一つ。主な著書に『ステファンヌ・マラルメ詩集考』、『フランス象徴詩派覚書』、『詩人ヴィヨン』、訳書には『マラルメ詩集』、『悪の華』、『ヴィヨン全詩集』、『ヴェルレーヌ詩集』などがある。また大塚の旧居は、遺族により豊島区に寄贈され、2018年春「鈴木信太郎記念館」としてオープンした。次男はフランス文学者鈴木道彦（本書監修者）

【著者紹介】鈴木道彦（すずき・みちひこ）

1929年東京生まれ。1953年東京大学文学部卒業。フランス文学専攻。著書『サルトルの文学』（紀伊國屋書店、1963、精選復刻版、1994）、『アンガージュマンの思想』（晶文社、1969）、『政治暴力と想像力』（現代評論社、1970）、『プルースト論考』（筑摩書房、1985）、『異郷の季節』（みすず書房、1986、新装版、2007）、『越境の時』（集英社、2007）、『マルセル・プルーストの誕生—新編プルースト論考』（藤原書店、2013）、『フランス文学者の誕生 マラルメへの旅』（筑摩書房、2014）ほか。訳書にファノン『地に呪われたる者』（共訳、みすず書房、1968）、ニザン『陰謀』（晶文社、1971）、サルトル『嘔吐』（人文書院、2010）、『家の馬鹿息子』1, 2, 3, 4（共訳、人文書院、1982、1989、2006、2015）、プルースト『失われた時を求めて』全13巻（集英社、1996～2001）ほか。



日本フランス文学界の黎明期より活躍し、多くの後進を育てた鈴木信太郎のパリ滞在記。1954年6～9月、ヴァルヴァンのマラルメ宅訪問や、森有正、大岡昇平、福田恆存、加藤周一、中村光夫といった面々との交流が記録される。信太郎の次男、フランス文学者鈴木道彦の「まえがき」を付す。



閏月社

〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-36 鳳鳴ビル  
TEL: 03-3816-2273 / FAX: 03-3816-2274  
query@jungetsusha.com http://www.jungetsusha.com/

ご注文は  JRC へ  
FAX 03-3294-2177

\* 全ての取次からのご注文が可能です（JRC 経由）

\* 返品は長期間受け付けます（返品了解者 JRC 後藤）